

# 大地震に備えて！

## お部屋の安全は大丈夫？

近年、テレビや新聞などで盛んに防災や減災の取り組みが紹介されていますが、特に「家具の転倒・落下防止」は、ご家庭や暮らしの中でのひと工夫で実現できる有効な対策として取り上げられています。

しかし、平成19年に内閣府が行った調査では実際に家具の転倒防止対策をしている世帯は24・3%にとどまっているという調査結果が出ています。

新潟県中越沖地震では、けがの原因の約40%が家具の転倒・落下によるものでした。また、多くの人が倒れてきた家具の下敷きになって、尊い命を失っています。「大地震では、家具は必ず倒れるもの」と考えて、少しの時間と工夫で家具の転倒防止対策を行い、家族を災害から守りましょう。



家具の転倒防止に使用する器材等には次のようなものがあります。部屋の状態、形状により最適な方法を検討・実施してください。

### 家具の転倒防止器具の種類

#### L型金具

強度がありもつとも効果が高いですが、ネジで金具と壁を固定するため、賃貸住宅に向かず、電化製品等には使用できません。

#### ベルトストラップ式

固定する物体の側面に強力な粘着テープで取り付けるので、釘が打てない電化製品や仏壇等に使用できます。車のシートベルトとほぼ同じ、600キロ以上の引張り強度があり、長さの調節も簡単です。

#### ポール式

壁に穴をあける必要がなく、家具の奥の方（壁側）で、天井や家具の両側（側板部）に1本ずつ取り付けます。

#### ストップパー式

家具の底面に設置し、家具を壁側に少し傾斜させることで、壁に張った状態にします。ポール式器具と組み合わせることで、高い強度を発揮します。

#### 粘着マット

固定する物体の底に貼ることで振動を吸収します。強度は低いですが、家具、家電製品、小物など多くの物に使用できます。

### 主な家具・家電の固定方法

#### タンス

L型金具を使い壁の硬い所や下地材のあるところに取り付けます。L型金具が使えない場合は、ポール式金具とストップパー式金具を使って固定します。上下に分かれている家具は連結しておくことも必要です。

#### 食器棚

食器棚の本体はタンスと同じように固定します。また、開き戸が開かないように止め金を付

けたり、ガラス飛散防止フィルムを張って、ガラスや食器が飛散しないようにしましょう。

#### 冷蔵庫

主なメーカーの冷蔵庫の後ろ側の上部には、ベルトの取付口や取っ手があります。そこに転倒防止用ベルトを取り付け、壁の下地材があるところに金具などで固定しましょう。

#### 電子レンジ・オーブン

まず、電子レンジ・オーブンを置いてある台を壁または床に固定し、電子レンジ・オーブンを粘着マットなどを使って固定しましょう。

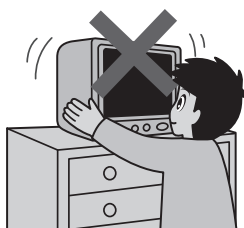
#### テレビ・パソコン

テレビの取扱説明書に転倒防止方法の説明がある場合は、それに従いましょう。テレビをテレビ台に固定するには、粘着マットやベルトストラップ式器具などを使う必要があります。

### 家具の配置にも工夫を

#### 家具を置かない

寝室や子供部屋など、家族やお子さんが長時間過ごす部屋には、できるだけ家具を置かないようにしたり、背の低い家具だけを置くようにするなど、配置を工夫しましょう。



#### 家具の向きと配置

万が一、家具が倒れてきたときに、寝ている人や、座っている人に家具が直撃しないように、また、出入り口をふさいでしまわないように、家具の向きや、配置を工夫しましょう。

問 総務部総務課  
67・1832

